



中書麴分區平山所

主島城一印版

美之屋

岡山島田山平所

板高祖



前略孝白と官書

三子遊島中六由と光

是乃作解と何と

故志や徳島と何と

ハ多時と終る子操利毛

此概 未厚人ノ操カ到

テ我あふ身は公心カ

實ニ我念事物カ

心



予我あふ身も又ハシカ
實に残念な物也
尤も若し中平一光
若し身が公望にあ
ふ事ハあしむる也
其の悔む事
予ハ、付カぬ事
固も危し然之ヲ却テ
流し極母病を治すも
未の全快、又はある
まじ夜ハ甚福目能
うしス甚し以極家
外も又今日迄ハ
待ツハアルモ信死
ハラス
醫術茶も其

